



サ ル ビ ア

～七夕集會に全校児童の夢が集まった～ 伊勢崎市立赤堀東小学校 令和6年7月12日 第35号

夢を育む！七夕集會が開かれました

①全校七夕集會(体育館にて) 7月10日

児童委員会を中心に、全校児童が体育館に集まっての『七夕集會』が開かれました。今年、全員の短冊が体育館に集められました。一人一人の願い事が大切にされることの喜びを味わうことができました。

児童委員が用意してくれた7つのたなばたクイズは、1年生から6年生までが楽しめる素敵な構成でしたし、なるほど！と感心する内容もありました。また、どのような願い(将来の夢)が多かったのか学年ごとのランキングを作ってくれたのも、興味深かったです。お祭りのような賑やかさと、知的な要素とがあり、とても素敵な時間でした。



☆子どもたちの将来の夢ベスト3

	第1位	第2位	第3位
1年生	サッカー選手、ケーキ屋さん	アイス屋さん	保育園の先生、野球選手
2年生	サッカー選手	ケーキ屋さん	先生
3年生	動物のお世話をする仕事	サッカー選手	プロ野球選手
4年生	野球選手	サッカー選手	美容師、チューバー
5年生	サッカー選手	保育士、美容師	ダンサー、チューバー、花屋さん、イラストレーター
6年生	野球選手	理容師、美容師、医者、医療従事者	俳優、チューバー、まんが家

②七夕祭りの出店(食堂にて) 7月11日・12日

6年生が3階食堂に『七夕祭り』と称して出店をたくさん作ってくれました。学校全体が楽しい時間を過ごせるようにという熱意は、前日の七夕集會からずっと続いたままです。一つの思いから自分たちなりの発想で何かを形にすることはとても素晴らしいことです。1～5年生までの児童も、心ゆくまで楽しむことができました。この6年生の心意気が、この学校らしいエネルギーとしてこれからも様々な形で受け継がれていったら嬉しく思います。(裏面に写真あり)

③この世は一人一人の願いでできている

学校評価の「将来の夢や希望について、親子で話し合っている」という項目は、毎年肯定的な回答が少ない傾向があります。もしかしたら、『夢』はほんやりしたものではないとか、「明確に目指すものがなければいけない」とか、考えてしまいがちなのかもしれません。

一方で、今世間では、「夢をもて」と言うこと自体が、若者に対して圧力になっているとの声もあります。ですが、目の前の子もたちはみんな何かしらの願いをもっていて、学校とはその願いの集合体としてできているのではないかとも思います。今回の七夕集會ではそのことを肌で感じることができました。

子どもたちが発する何気ない一言の中にも、願いがあり、未来への希望があり、それを大人がいっしょに「そうだったらいいな」と希望を馳せたいものだと思います。学校にも、家庭にも、大人に心のゆとりが生まれ、将来を明るく見つめることができるように頑張っていきましょう！

6年生ありがとう！

3階の食堂が、一瞬にして、夢の国になりましたね。

この時間をともに過ごした全校のお友達の心の中に、さぞたくさんの“栄養”が入ってきたことでしょう。

一つ一つのお店に楽しさが詰まっています！企画してくれた6年生ありがとう。誇りに思います。

